



若竹だよい



運営基本理念

報四恩

父母の恩・社会の恩

郷土の恩・大自然の恩

- 【私たちの願い】 ①よろこんで与える人間となろう ②いのちを大切にする人間となろう
 ③こころ静かに考える人間となろう ④使命に生きる人間となろう ⑤規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

法人の社会貢献事業 ①四国八十八カ所巡礼者無料宿泊&お接待 ②講演会・シンポジウム等

【巻頭言】

逆境からのスタート

園長 宮竹 恒

新しい職員を迎え令和2年度がスタートしました。子ども達は、新学期が始まってすぐに休校となり、毎日、宿題に取り組んでいます。

例年であれば行われる行事や活動を中止し、外出を自粛しての生活が続いています。

令和2年度は、まさに逆境からのスタートとなりました。新型コロナウイルスの影響が長期化する中、世界全体に生活の見直しを迫られているように思います。しかし、逆境の中、世界中で新たな工夫が成されていることを知る時、未来への希望も感じます。

例えば、これまでマスクに関わる事が無かった企業が独自の方法を創り出しています。航空会社は、旅客機を貨物輸送用に運用することを試みています。与えられた場所で、与えられ使命を果たすための工夫が必要であると思います。学園としては、子どもの命の安全を守りながら、普段は出来ない生活と活動の工夫を行っていく所存です。 一了一

外来者の方へのお願い

子どもの安全を守るため、検温、手指消毒、マスクの着用をお願い致します。

*体温が37.4℃以上の場合は、来園をお断りさせて頂く場合もあります。

ご理解、ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

気持ちいいね～！
 気持ちいいね～！

4月17日、古本先生に職員、子どもの全員に対して臨床動作法研修をしていただきました。

まずは、臨床動作法がどのようなものかを知ることが目的です。実際に体を動かしながら体験することで、自分への体への気づき、ストレスへの対処、リラクゼーションや運動能力の向上の効果が期待されます。

やり始めると、子どもからは「意外と動くわ」、「ここはきついな」や「めっちゃ動くようになった」といった体の感覚への気づきを得た言葉が多く聞こえてきました。

全体研修以降、個別での臨床動作法をしていただきます。この日も実際に3人の子どもが個別で参加しました。個別での臨床動作法を終えると姿勢がよくなり表情も良くなったような印象を受けました。

体が少しでも楽になり、心の安定につながられるよう今後も週1回継続して行っています。



青峰・若竹学級だより 4月

本年度、青峰学級（中学生）13名、若竹学級（小学生）8名、学校職員6名の計27名でスタートしました。「挑戦、失敗を恐れず何度でも挑戦」をスローガンに一丸で教育活動を行っていきます。

職員紹介 今年度の職員です。

	<p>ふくだ けいたろう 福田 啓太郎 小学校</p>		<p>おかもと かつひこ 岡本 勝彦 中学校 理科</p>	
	<p>ながの しんや 長野 進也 中学校 数学</p>		<p>おおえ よしえ 大恵 淑恵 学習支援員</p>	
	<p>にしかわ てん 西川 天 小学校</p>		<p>おの こうじ 尾野 弘司 中学校 社会</p>	

始業式・入学式



4月6日に始業式、8日は青峰学級の入学式が行われました。入学式では、2名の生徒が青峰学級に入学しました。今年は新型コロナウイルスの影響で、在校生と来賓の参加は見送りとなり、例年に比べて寂しい入学式になりましたが、新入生は立派な態度で入学式に臨んでいました。大下校長先生から「自分を大切に人になって欲しい」と式辞がありました。宮竹園長先生からは、「大変な年に中学校に入学したことが、大人になって大きな思い出になって欲しい」と祝辞を頂きました。



焼肉！焼肉！

昼食時、新人職員の歓迎バーベキューをしてもらいました。



子どもたちとの初めての出会いで、新人職員も子どもたちも始めは少し緊張していましたが、一緒にお肉や野菜を焼いて、いろいろな話をしながら食べているうちに少しずつ打ち解けることができました。

お肉も野菜も好き嫌いせずにとくさん食べることができている子が多く、元気いっぱいな姿を見られてこちらもとくさんの元気をもらえました。

お肉を焼いて子どもたちのお皿に置くと、「ありがとう。」とお礼を言ってくれる子がたくさんいて、とても嬉しかったです。

バーベキューの後の中学生の女の子たちと食器洗いをしました。自主的に手伝ってくれて、助かりました。

園内での生活についてや、自分たちの好きなものについてなどの話をとくさん聞かせてくれたことで、四月からの新生活への不安が少し解消されました。

これからも子どもたちともっと話をしたり、一緒に遊んだりして、子どもたち一人一人のいいところや、意外な一面などをとくさん見つけていきたいと感じました。

子どもの優しさを感じました。

職員歓迎も込めて屋上でドッジボールを行いました。四月から新しく加わった四人の職

員も参加し、熱戦が繰り広げられました。はじめのうちは、お互いに気を遣いながら投げ合っていましたが、全力で楽しもうという気持ちで臨んだところ、その気持ちが子どもたちにも伝わり、徐々に本来の力を発揮するようになりました。中学生男子の投げた球は強烈で、職員は必死で逃げましたが、最終的には当てられていました。それに反して小学生には緩やかなボールを投げていたの、そういうルールなのかと思い聞いてみるとルールではありませんでした。子どもたちの優しい一面を感じることができ、これから子どもたちとどんどん仲良くなっていければと思います。

新型コロナウイルスの影響で、外出が禁止されている子どもたちにとっては、思いっきり体を動かせる良い機会となり全員で盛り上がることができました。

またいっぱい、いっぱい、しようね！



新人研修(内部研修)

今年から新人職員に対して、心理担当者から、子どもの理解について深めていけるように研修を実施しています。4月は2回実施しました。

1回目はどのような障がいがあるかの理解についてと菓の効果。

2回目は学園で生活している子どもの特徴や支援者が感じる気持ち。

5月も2回研修を続けていき、子どもたちの支援に役立てることができたらと考えています。

職員紹介



古本 貢

セラピスト (非常勤)

臨床動作法を通して、皆さんと活動出来ることを楽しみにしています。



大室 麗菜

児童指導員

みんなと一緒に楽しくたくさん遊びたいです。



小塚 智瑚里

児童指導員

これから頑張っていくので、宜しくお願いします。



三嶋 優花

保育士

元気と笑顔を大切に頑張ります。



山地 志保

児童指導員補助

若竹学園で働くことがとても楽しみでした。頑張ります。

植松圭吾 主幹
 岡田由梨 家庭支援専門相談員
 宮脇景子 マネージャー

4月行事

4月1日	新入社員歓迎 BBQ
4月6日	始業式
4月8日	入学式
4月17日	臨床動作法研修
4月28日	消防訓練(消火)

在籍人数 令和2年5月1日現在

区分		県内	県外	合計
		(人)	(人)	(人)
男子	小学生	3	1	4
	中学生	10	1	11
	計	13	2	15
女子	小学生	4	0	4
	中学生	3	0	3
	計	7	0	7
合計		19	2	21

編集後記

春になると、子どもたちにはかわいいペットができます。お部屋では飼えないお約束になっていますが、何故かお部屋を歩いているペットに遭遇することがあります。今年も掃除をしていた新人職員の悲鳴が！



この悲鳴を聞くと4月かと季節を感じます。(宮脇)

第313発行

〒761-8004 香川県高松市中山町 1501-192
 TEL 087-882-1000 FAX 087-882-1160
 ホームページ <http://4on.or.jp>
 Eメール wakatake@4on.or.jp
 編集兼発行者 若竹学園 編集委員
 発行責任者 宮竹 恒